

# 干ばつ被害広がる可能性も

## 日本共産党議員団が近く現地調査

7月からの猛暑が続く中で、市内の田んぼや畑などで干ばつ被害が発生しています。このまま降らない状況が続くと、きわめて深刻な事態となるため、日本共産党議員団では、馬場秀幸県議と共に近く現地調査を行うことにしています。

その現地調査のための事前調査で、私は7日、8日と板倉区、牧区、吉川区で被害が出ている田んぼを見て回りました。7日は板倉区の板倉区菟立（写真右上）、飯喰沢、牧区の大月へ行ってきました。いずれの田んぼも干上がり、田んぼの土は真っ白、ひび割れが広がっていました。8日は吉川区町田の田んぼを見てきました。田んぼの畦に近いところは葉が丸まったり、よじれたりしていました。稲穂も枯れてきています。耕作している人によれば、この日の暑さで、また悪化したとのことでした。集落に近い溜池はまだ水がありましたが、奥の新溜（写真右下）は空っぽに近い状態でした。



## 来春の市議選に現職の3人を擁立へ

日本共産党上越地区委員会(五十嵐健彦委員長)はこのほど、来春の上越市議会議員選挙にあたり、現職の3人(上野公悦、橋爪法一、平良木哲也)を擁立すると発表しました。

発表にあたり五十嵐地区委員長は、「岸田政権の下で市民の暮らしは悪化の一途だ。市民の命と暮らしを守る市政をつくるために、全力を挙げていく」と決意を語りました。

## 市内各地でにぎやかに夏まつり

8月に入り、柿崎、頸城、清里、中郷などの市内各地で夏まつりが開催されています。

このうち、越後よしかおやっただれ祭りは会場を元の原え町商店街に移して開催されました。ペットボトルをつかって地元の小学生が作った稲穂竿灯が今年も輝きました。そして

中学生は吹奏楽演奏や神樂の運行などで大活躍でした。そのほか、高等特別支援学校の生徒や長年頑張ってきたよさこいグループなども頑張りました。祭りは午後9時で終わりだったんですが、最高潮に盛り上がり、「まだ続いてほしい」ムードでした。



【オオバギボウシ】  
(再掲) リュウゼツラン  
亜科の多年草。漢字で、「大葉擬宝珠」と書きます。「ウルイ」とも呼ばれています。春の山菜の一つ。写真の花は草刈り後に再生し、花を咲かせたものです。花期は6月～8月頃。白い花を咲かせます。花言葉は「鎮静」。写真は8月4日、大島区竹平にて撮影。



# はしづめ法一の 活動レポート

No.2122 2023.8.13

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第七六九回

### 猛暑の中で

八月になっても猛烈に暑い日が続いています。暑いのはお盆までと言われたのですが、これだけ長く続くと、本当にお盆までだろうかと思配になってきました。

先日の午後四時過ぎ、私は板倉区機織にいました。この日は午前の会議で、干ばつ対策について話し合い、現地調査が必要だということになりました。そのため、干ばつ被害の事前調査をしようと、いくつかの総合事務所に干ばつの状況を問い合わせ、まずは板倉区の山間部に入りました。そこから牧区へ移動する途中、鈴木昭司さんの家に寄りました。

鈴木さんは、私が吉川区の蛭場に住んでいた頃からの知り合いで、すでに九〇歳を超えています。お連れ合いと二人暮らしですので、事前調査の報告方々、「元気でいなるかどうか」気になり、寄らせてもらいました。

玄関の戸を開けて声をかけると、鈴木さんはどこかへ出かけようと言われていたのでしょうか、すでに土間に下りておられました。「さあさ、お茶でも飲んでいってこない」そう言われて、居間の上がらせてもらいました。

午後四時過ぎとはいえ、この日は猛暑で、室内気温も三〇度を軽く超えていたと思います。扇風機が動いていましたが、居間も暑く、じわりの汗が出てきました。

鈴木さんとお連れ合い、それに近所の方と一緒に茶をいただきながら、二年ほど前に発刊した私のエッセイ集、『じゃがじゃが煮』のことも干ばつ被害のことを話しました。鈴木さんのお連れ合いは、「じゃがじゃが煮が作った料理のことが『じゃがじゃが煮』という言葉になったのには驚いた」と言っていて笑いました。

話を聞いて、「さすが、コメ作りをしてきた人だな」と思ったのは、鈴木さんが隣の集落の田んぼの状況を詳しく語って

くださったときです。数年前に私が調査に入った田んぼは、水不足が続く、作付けされないようになってしまったことも教えてもらいました。

驚いたのは、お茶をこ馳走になってからのことです。外に出て、家の下見板にかけてあった大きな「たも網」を見たので、「これ、何に使ったんですか」と訊きました。鈴木さんは、「田んぼで飼っていた鯉をあげて、この下の池に入れたんだわね」と言います。「たも網」の柄の長さは二メートル以上ありました。獲物を入れる網部分は直径五〇センチ近い。この「たも網」を使い、大きな鯉を救い上げる仕事を九〇過ぎの人がしっかりとやっている。その様子を想像しながら、私は「鈴木さんは、すごい体力の持ち主だ」と思いました。

五〇年ほど前、鈴木さんは、土建の仕事で、板倉から蛭場まで通っておられました。もちろん、他の仕事仲間の皆さんと一緒にです。

確か新井の岡田土建工業(株)の仕事で、仕事の中身は災害関連の堰堤(えんてい)の工事だったと思います。私も堰堤工事の現場にいたことがあったので、足場を組む、コンクリート打ちをするなど、仕事のいくつかの場面は今も覚えています。

当時、鈴木さんは四〇代だったと思います。蛭場で仕事をしておられたときも夏場だったように記憶しています。体は細身でしたが、背筋を伸ばし、テキパキと仕事をされているのが印象に残りました。

考えてみれば、暑いときに「暑い」と言っていて、口説きながらやるようではいい仕事はできません。どんなときも仕事は仕事、きちっとやる。それが基本です。そのことを鈴木さんは九〇歳を超えてもちゃんと貫いている。冬場の除雪機操作に続いて、今年も年齢を感じさせない鈴木さんの仕事への執念を垣間見る思いがしました。

## 大島区の旭商店も三八市での販売開始

「橋爪サーン」の聞き覚えのある声だったので振り返ったら、牛田さんたちでした。大島区旭地区の若者が始めた合同会社・旭商店は、8日から三八市に出店しています。うれしいですね。これで三八市に行く楽しみがまたひとつ増えました。旭商店には、美味しいコメ、新鮮な野菜などが並びます。私は8日、「ひとロメロン」を3個買ってきました。お客さんが減り続ける市に活気を取り戻すきっかけになってほしいものです。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月2日(水)	8月8日(火)
上越南消防署	0.053	0.047
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.050	0.043
頸南消防署	0.070	0.067
東頸消防署	0.040	0.047
名立分遣所	0.050	0.050
高士分遣所	0.047	0.053

### 浄善寺の掲示板

柿崎区にある浄土真宗本願寺派寺院・浄善寺の掲示板の最新の言葉です。  
めぐりあいのふしぎに  
てをあわせよう

